

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====
【ソフト名】 SST G1Pro アップデートインストーラ
【対象製品】 SST G1 Pro 日本語版 / 英語版
【登録名】 SST G1 Pro Ver.1.1.25
【アプリケーション名】 setup.exe
【著作権者】 株式会社カンバス
【動作環境】 Microsoft Windows 7/ 8 / 8.1 / 10 / 日本語版 / 英語版
【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。
=====

<Ver. 1.1.25> 2017.2.28

本バージョンアップによる変更内容

1) 機能追加・仕様変更

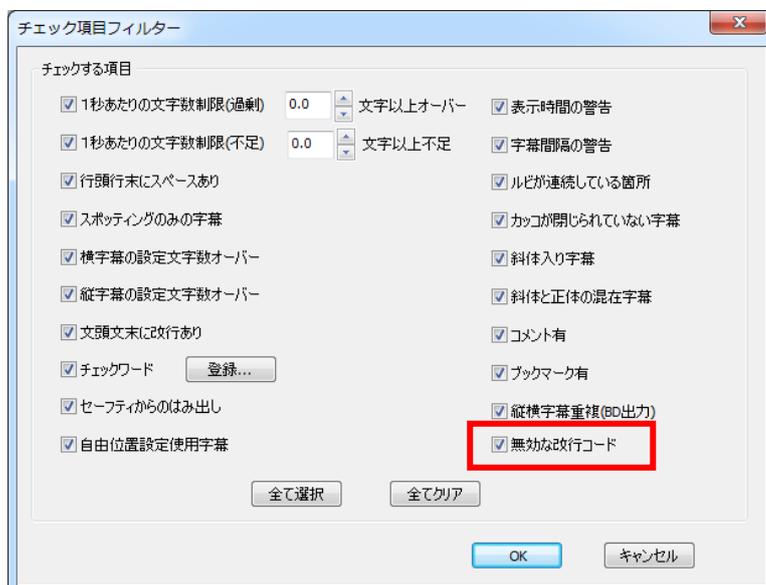
●最終チェック

ー項目「無効な改行コード」を追加しました。

極稀に、Windows 標準の改行コードとは異なる改行コード（※）が入っている場合に、最終チェック機能にて検出できるようになりました（エフェクトは無し）。文頭・文末・文中を問わず、無効な改行コードが存在するかのチェックになります。

この無効な改行コードが検出された場合の修正方法は、全文削除後の同一字幕入力以外にありません。削除する際には、全文ドラッグでも問題ありませんが、ctrl+A で全文を選択し、Delete キーで削除するやり方をお薦めいたします。もちろん再入力ではコピー＆ペーストを利用しないでください。

※「文頭文末に改行あり」で検出される通常の改行は、このチェックでは検出されませんのでご注意ください。



※コピー&ペーストやデータインポートなどが原因で、極稀に Windows 標準の改行コードとは異なる無効な改行コードが入ることがあることが判明しました。現時点で確認できている具体例は、中国語から日本語に翻訳した作品のうち、特定の個人が作成した s d b です。この改行コードはプレビューウィンドウや字幕ウィンドウ上の目視では確認できません。なお、この改行コードは、ファイル間のコピー&ペーストやデータインポートなどに原因があり、通常の子幕入力では入ることはありません。

この改行コードが入ったまま CAP にエクスポートすると以下の赤枠のように、空行が入ります。

例／文末に無効な改行コードが入っている場合に、cap ファイルにエクスポートをした状態。

Lambda字幕V4	DF1+1	SCENE”和文標準”↓
↓		
1	00340715/00341806	字幕サンプル @斜3↓
		↓
2	00342005/00342508	字幕サンプル2↓